

着衣着火にご注意！！

着衣着火という言葉をご存知でしょうか？

着ている衣服に火がつくことを「着衣着火」と言います。ガスコンロを使用中に、その周囲に置かれた物を取ろうとした時や、仏壇にろうそくをつけ、お供えをしようとした時に着ている衣服に火がつくといった火災が、弘前地区消防事務組合管内において昨年からの多数発生しています。



火災は、ちょっとした不注意で発生します。次のことに留意し、火の取り扱いには十分注意しましょう。



着衣着火への注意事項

- ガスコンロを使用中に、コンロ越しの調味料等の物を取る時は、面倒でも火を止めてから行いましょう。
- 仏壇のろうそくには十分注意してください。
- 屋外で火気を使用する時は、火の燃え移りやすい風下に立たないようにしましょう。
- 野焼き等は着衣着火や燃え移りの危険が伴うため控えましょう。
- マッチやライターは、子供の手の届かない場所に保管しましょう。
- 花火をする時は、ろうそくの火が衣服につかないように注意しましょう。

もしも、衣服に火がついてしまったら・・・

もしも、衣服に火がついた場合は、手ではたいても消すことは困難です。慌てないですぐに水をかけてください。万が一、火傷を負ってしまった場合は、流水で冷やし、救急車を呼ぶ必要がある場合は、そのまま冷やし続けましょう。

また、近くに水がない場合は、走らないでその場で転がって消火してください。走り回ると、かえって風が起これり火の勢いを大きくします。

